



講座のアピールポイント

みなさんのもつ「皮膚科」のイメージはどんなものでしょうか？

みずむし、かぶれ、ほくろ、…。はっきりとしたイメージがつきにくいかもしれませんが、簡単に言えば、皮膚の表面から筋肉の上くらいまでにでてくる病気は全部担当する、という部門なのです。その中にはアレルギーから感染症、悪性腫瘍（いわゆる「がん」です）、先天異常を原因とするなど様々なものが含まれております。

獨協医科大学皮膚科においては、一般的な皮膚科の疾患から、重症で命にかかわるような疾患まで、すべてに対応できるような体制を整えております。その中でも、アトピー性皮膚炎をはじめとするアレルギー性皮膚疾患については、アレルギー学会の認定教育施設でもあり、多くの患者さんに来ていただいております。また、悪性腫瘍や重症感染症など、大掛かりな手術療法が必要な疾患についても以前から積極的に診ておりまして、患者さんの数は全国でもかなり多い方です。また、エーラス・ダンロス症候群という遺伝性疾患についての診断も積極的に行っております。

皮膚科では最近、いろいろな疾患について新規の治療薬の開発が進んでおり、いわゆる「治験」といわれるものが多く行われております。当科でも時々行われておりますので、詳細はホームページなどをご参照いただければ、その時々で情報をupdateしていきます。

講座研究紹介

研究については、実際の患者さんを対象にして、疾患の特徴などをまとめていくような、いわゆる臨床研究や、動物や細胞を使った基礎的な研究までさまざまに行われております。当科単独で行っている研究（アトピー性皮膚炎、薬疹、エーラス・ダンロス症候群などを対象）もありますが、大学内の他の研究室との共同で行われているもの（炎症性皮膚疾患、悪性腫瘍、膠原病などを対象）もあります。成果は、国内外の学会や研究会で発表をおこなうとともに、信頼性の担保されている国際的な学術誌に論文として報告するようしております。